

モンゴルの本について

電子工学科 3年 ガナー

私はモンゴルから来たガナーです。現在、詫間電波高専の電子工学科の3年生です。日本に来てから2年目になります。日本に来て、日本の文化や科学技術の進歩を見て、素晴らしいと思いました。どんな国でも、文化や科学技術、政府、経済などの発展に本は必要不可欠です。モンゴルは歴史が非常に長くて、美しい自然やいろいろな動物などがいっぱい居ることで有名です。モンゴルはモンゴル語、モンゴル文字、昔からある独特の習慣がある国です。ですから、習慣、美しい所、広い草原、歴史などについて詩、小説の本はとて多いです。詩を書く人も多くて、毎年、詩の大会が行われています。私は自分の国の歴史を学ぶことが好きです。特に、一番好きなのは CHINGGIS KHAN 王様についての話に関する本です。その時代の話は本当に面白いです。その王様はモンゴル人のとても尊敬する人なので、様々な本もたくさん書かれていて、映画までも作られています。

モンゴルは科学技術や、経済などの面でまだまだ日本ほど発展してない国で、そういった分野に関する本は少ないのが現状です。その中でも比較的多いのは数学の本です。しかし、コンピュータ、経済、科学、物理の専門的な本はだいたいロシア語や英語、ドイツ語、中国語、日本語などで書かれています。ですから、高校・大学生たちは自分が好きな勉強をするためには、外国語を知らないとなかなか知識を身に付けることができません。最近ではアメリカ、イギリス、中国、日本から科学技術の本は多く入ってきて、図書館も多くなってきていますし、若者たちも外国語の勉強を頑張っています。私も国にいた時、電子工学の勉強を身に付けるためにロシア語を頑張っていましたが、あまり上達しなかったので、自分の好きな本を読めなくて、困っていました。今はだんだん日本語が分かってきて、自分の専門の本を日本語で読んで分かるようになって、本当に嬉しいです。

わたしは詫間電波高専に来て、1年間勉強をしています。この間、学校の図書館から本を良く借りたり図書館で勉強したりして、日本の本は分かり易くて、きちんと書いてあって、良いと思いました。日本では専門的なコンピュータ、物理、化学、電子、経済の本はいろいろあり、学生たちが好きな本を日本語で読むことができるので、とても良いと思います。日本の図書館や本屋に楽しい漫画の本の本がたくさんあり、日本人は子供から大人まで漫画の本を良く読みますね。モンゴルでは漫画の本は日本みたいに人気なくて、モンゴル人は漫画の本をあまり読んでいません。私も日本に来て日本の漫画の本を読むようになって、新しい感情を持ちました。漫画の本では毎日の生活、学校などで起こる楽しいことが書いてあって、本当に面白いですね。

本はどんな国でもその国が進歩するのを助ける大切な武器です。私は国を科学技術で、早く発展して欲しいです。できるだけ日本で電子工学の勉強して、いつか国の学生たちに必要となる良い本を書きたいと思います。